

# 経営比較分析表（令和6年度決算）

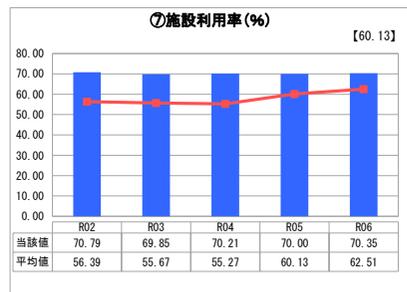
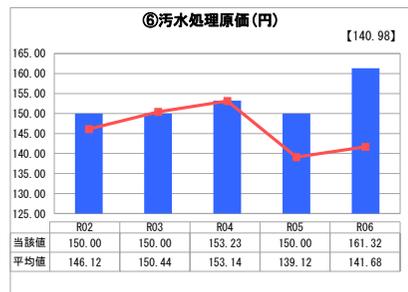
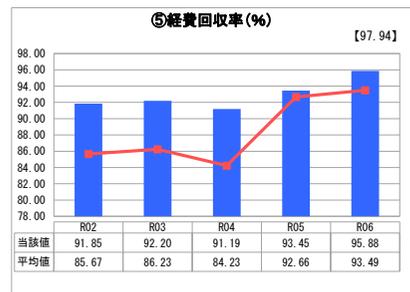
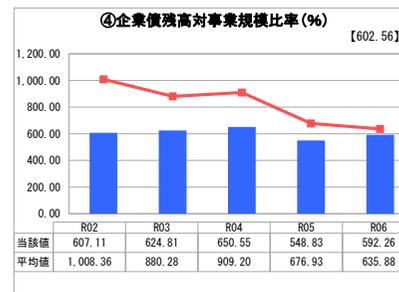
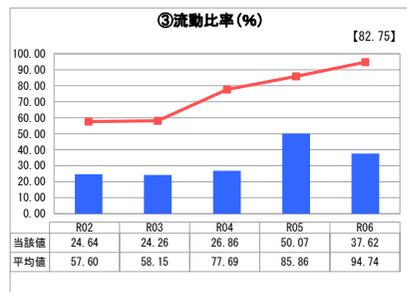
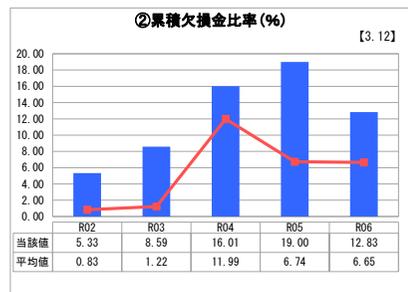
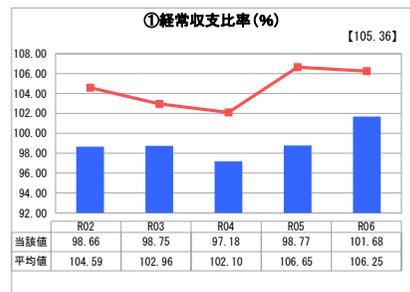
静岡県 御殿場市

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	下水道事業	公共下水道	Bc1	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20m <sup>3</sup> 当たり家産料金(円)
-	56.23	40.39	83.20	2,830

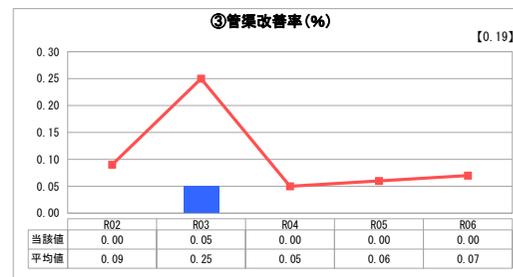
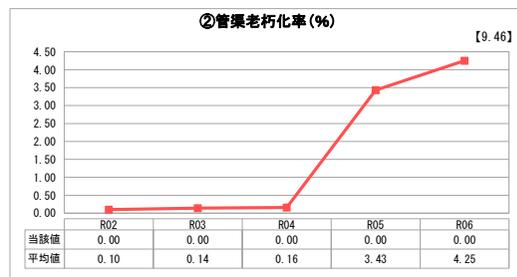
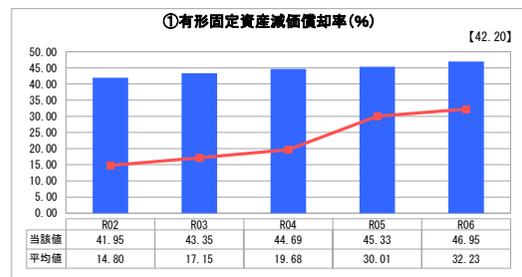
人口(人)	面積(km <sup>2</sup> )	人口密度(人/km <sup>2</sup> )
83,487	194.90	428.36
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km <sup>2</sup> )	処理区域内人口密度(人/km <sup>2</sup> )
33,512	6.36	5,269.18

グラフ凡例
■ 当該団体値(当該値)
— 類似団体平均値(平均値)
【】 令和6年度全国平均

## 1. 経営の健全性・効率性



## 2. 老朽化の状況



## 分析欄

### 1. 経営の健全性・効率性について

当年度に料金改定を行った影響で、経常収支比率(①)及び経費回収率(⑤)が増となり、累積欠損比率(②)が大きく減となった。経常収支比率が100%を超えているが、まだ累積欠損金があるため、引き続き経営の改善を目指す。流動比率(③)は前年度末に未払金が多かった影響で減となっている。企業債償還のピークを超えてきており、企業債償還金が減少傾向となるため、類似団体の平均値を下回っているが、徐々に改善することが見込まれる。

企業債残高対事業規模比率(④)は全国平均に近い値となっている。今後も過年度の動きと同様に微増・微減のまま推移することが見込まれる。

汚水処理原価(⑥)は前年度に比べて増加している。類似団体平均を超えているため改善を行う必要があるか検討を行う。

面整備がR4に概成しており、今後処理区域内人口は人口減少の影響で減少、水洗化人口は微増していく見込みであるため、水洗化率(⑧)については今後横ばいしていくと推計される。類似団体及び全国平均の値に近づけるよう、今後も計画的に加入促進を行っていく。

### 2. 老朽化の状況について

平成6年の供用開始以降大規模改修を行っていないため、有形固定資産減価償却率(①)が類似団体平均と比較して大きくなっていると考えられる。管渠老朽化率(②)の数値が0となっているように、主要な管渠施設の老朽化は現時点では進んでいない。処理場については、令和2年度からストックマネジメント計画に基づき改築事業を実施している。

## 全体総括

令和2年度に策定した経営戦略に基づき、経費回収率(①、⑤)を100%以上とするための使用料改定について、令和4年度に審議会を開催した結果、当該年度に使用料の改定を行った。経費回収率は決算統計の算定方法の影響で100%にはならないものの、理論上は100%を達成しており、今後も100%以上を維持できる見込み。

管渠の老朽化に対しては、耐用年数の短いマンホールポンプ施設やマンホール蓋の更新を重点的に実施する。

また、処理場に関しては、引き続きストックマネジメント計画に基づき改築を進めていく予定である。

※ 「経常収支比率」、「累積欠損金比率」、「流動比率」、「有形固定資産減価償却率」及び「管渠老朽化率」については、法非適用企業では算出できないため、法適用企業のみ類似団体平均値及び全国平均を算出しています。